

がん化学療法レジメン(外来 ・ 入院)登録申請用紙

疾患名 子宮頸がん (進行再発)

療法名 Pembrolizumab+PTX+CDDP±BEV(21日間 / サイクル 6 サイクル)

Pembrolizumab 維持 (21日間 / サイクル 最大 29 サイクル)

施行開始予定日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

	薬品名	投与量	単位	希釈液	液量(mL)	投与時間 (分)	投与経路	投与日	備考
①	ペムブロリズマブ (キイトルーダ)	200 or 400	mg/body	NS	100	30分	静脈	d1	インラインフィル ター使用
②	硫酸 Mg 補正液 KCL	8mEq 10mEq		NS	500	60分	静脈	d1	イメンド 125mg 内 服(全 6 サイク ル)
③	デキサメタゾン(デ キサート) ポララミン グラニセトロン ファモチジン	9.9mg 5mg 1mg 20mg		NS	50	15分	静脈	d1	デカドロン 8mg1 日 2 回朝食後 Day2-4 イメンド 80mg1 日 1 回 朝 食 後 Day2-3 オ ラ ン ザ ピ ン 5mg1 日 1 回 夕 食 後 Day1-4 (全 6 サイクル)
④	パクリタキセル	175	mg/m ²	NS	500	180分	静脈	d1	インラインフィル ター使用 (全 6 サイクル)
⑤	シスプラチン	50	mg/m ²	NS	500	60分	静脈	d1	(全 6 サイクル)
⑥	フロセミド	20mg		NS	500	60分	静脈	d1	(全 6 サイクル)
⑦	±ベバシズマブ (アバステン)	15	mg/kg	NS	100	初 回 90 分、2 回目	静脈	d1	投与患者選択は 主治医判断によ

						60分、3回 目以降30 分に短縮 可			る 時間短縮同意あ る場合は初回か ら30分で投与
⑥	生理食塩液				50	全開	静脈	d1	

I. 投与に際しての注意事項

ペムブロリズマブ 200mg は化学療法併用と合わせて最大 35 サイクル

ペムブロリズマブ 400mg は化学療法併用と合わせて最大 17 サイクル

CR 後、ペムブロリズマブ 2 サイクル施行後に中止可能

II. 投与・休薬基準 (例:白血球 $\geq 2000/\text{mm}^3$ 、好中球 $\geq 1000/\text{mm}^3$)

PSL 換算 10mg/日以上投薬治療をしていないこと

好中球 $\geq 1500/\text{mm}^3$

血小板 $\geq 100,000$

Hb $\geq 9.0\text{g/dL}$

Scr $\leq 1.5 \times \text{ULN}$ or Ccr 60mL/min

T-Bil $\leq 1.5 \times \text{ULN}$

AST、ALT $\leq 2.5 \times \text{ULN}$ ($\leq 5 \times \text{ULN}$ 肝 meta)

INRorPT $\leq 1.5 \times \text{ULN}$

III. 減量基準 (例:Grade3 以上の好中球減少時、次回より投与量を80%に減量)

ペムブロリズマブ、ペバシズマブ減量なし

PTX、CDDP は減量規定なし

IV. 重大な副作用 (例:好中球減少 Grade3 以上37.5%)

Grade3 以上 貧血 30.0%、好中球減少 12.4%、高血圧 9.4%、血小板減少 7.5%

添付参考資料(文献・ガイドライン・治験計画書・研究計画書)

_Pembrolizumab for Persistent, Recurrent, or Metastatic Cervical Cancer_____

N Engl J Med 2021;385:1856-67.